

# 疾病治療論 I (内科学)

単位数(時間数) : 2 単位 (30 時間) 必修/選択 : 必修 履修年次 : 1 年次 開講時期 : 後期

科目責任者(職位・氏名) : 教授・三浦靖彦

科目担当者(職位・氏名) : 非常勤講師・関博文、非常勤講師・武内健一、  
非常勤講師・小田克彦、非常勤講師・高橋浩

---

対応DP : 基礎力をもった社会人 ケア・スピリット 看護専門職者としての基本姿勢  
看護の基礎的・専門的知識・技術 社会への関心と地域貢献 生涯学習・自己研鑽  
科目記号 : 28

## ■ 授業概要

人体の基本構造と機能を理解したうえで、主な疾患の病因及び症候と診断について基本的知識を修得し、さらに最新の内科的治療方法について教授する。具体的には、身体機能の系統別に、脳・神経系疾患、呼吸器疾患、循環器疾患、消化器疾患、代謝・内分泌疾患、腎・泌尿器疾患、免疫・アレルギー疾患の発生機序や病態、診断、治療について学び、内科的治療を受ける患者の看護援助に必要な医学的基礎知識を修得できるよう指導する。

## ■ 到達目標

1. 個々の疾患の病因と症候が説明できる。
2. 個々の疾患に必用な診断の基本、自覚症状や身体所見を理解する。
3. 個々の疾患に必用な最新の内科的治療・看護を理解する。

## ■ 教育内容

人体の構造と機能、疾病の成り立ちと回復の促進

## ■ キーワード

病因、症候、診断、内科的治療

## ■ 授業計画（授業項目、授業内容・授業方法、担当教員）

回	授業項目	授業内容・授業方法	担当
1	内科学総論	内科学とは ①診断過程 ②一般的検査と特殊検査 ③内科的治療について	三浦
2	腎・泌尿器疾患①：主要な腎・泌尿器疾患の症候、各症候と対応する疾患および診断基準	腎炎、腎不全、ネフローゼ症候群等の内科的疾患と、腎癌、尿路結石、前立腺疾患等の泌尿器科疾患の症候と診断について教科書に沿って解説する	三浦
3	腎・泌尿器疾患②：慢性腎臓病（CKD）の治療	慢性腎臓病の病態からみた内科的治療と外科的治療の適応、およびそれぞれの予後について、主に教科書に沿って解説する	三浦
4	脳・神経系疾患①：主要な脳・神経系の症候、各症候と対応する疾患および診断基準	講義：解剖、生理に基づいた病気の成り立ちを説明し、理解できるように講義する なぜ症状が出るかを説明して、理解できるように講義する	関
5	脳・神経系疾患②：脳・神経系疾患の治療	講義：主要な疾患（脳卒中）を取り上げ、その病態生理を理解し、病気の持つ社会的意味についても触れる	関
6	呼吸器疾患①：主要な呼吸器の症候、各症候と対応する疾患および診断基準	酸素を取り込む機能とその障害、酸塩基平衡を保つ機能とその障害、主な呼吸機能検査法を学習する。主な呼吸器疾患とその診断について学習する	武内
7	呼吸器疾患②：呼吸器疾患の治療	気管支喘息、COPD、間質性肺炎、肺結核、その他の呼吸器感染症の診断と治療について学習する	武内
8	循環器疾患①：主要な循環器の症候、各症候と対応する疾患および診断基準	心臓の基本構造（心房、心室、心臓弁、冠動脈、刺激伝導系）、心膜、大動脈、大静脈、末梢動脈、末梢静脈に関して、教科書、スライドを用いて解説する	小田
9	循環器疾患②：虚血性心疾患の治療	上記で解説した主な疾患についての治療法について教科書、スライドを用いて解説する	小田

10	代謝・内分泌疾患①：主要な代謝・内分泌疾患の症候、各症候と対応する疾患および診断基準	糖尿病、痛風などの代謝疾患と主な内分泌疾患の症候、診断基準を教科書にそって解説する	三浦
11	代謝・内分泌疾患②：内分泌・代謝疾患の治療	糖尿病の治療法について教科書にそって解説する	三浦
12	免疫・アレルギー疾患①：免疫・アレルギー疾患の症候、各症候と対応する疾患および診断基準、治療	免疫機能の障害とそれによってもたらされる自己免疫疾患、アレルギー性疾患について学習し理解する	三浦
13	消化器疾患①：主要な消化器の症候、各症候と対応する疾患および診断基準	食道、胃、十二指腸、肝臓、胆嚢、膵臓、小腸、大腸における疾患の種類と、疾患の症候からみた診断法について、教科書を用いて解説する	高橋
14	消化器疾患②：消化器疾患の治療	上記で解説した上部消化管疾患の病態に基づいた治療法とその予後について、主に教科書に沿って解説する	高橋
15	消化器疾患③：消化器疾患の治療	上記で解説した下部消化管疾患の病態に基づいた治療法とその予後について、主に教科書に沿って解説する	高橋
16 補講	血液・造血器疾患①：主要な血液・造血器疾患の症候、各症候と対応する疾患および診断基準	主な血液疾患として、貧血、白血病、血友病、悪性リンパ腫、骨髄腫等の病態と症候、診断基準について教科書を用いて解説する	高橋
17 補講	血液・造血器疾患②：血液・造血器疾患の治療	上記で解説した各疾患の病態について説明するとともに、病態に基づいた治療法とその予後について解説する	高橋

## ■ 履修条件

特になし

## ■ 成績評価方法

期末試験 100%

## ■ 課題（試験やレポート等）に対するフィードバック方法

授業中に提示する質問への回答については、学務課を通して行う。

## ■ 教科書

- ・『デジタル ナーシング・グラフィカ EX』メディカ出版
  - EX 疾患と看護 ① 呼吸器
  - EX 疾患と看護 ② 循環器
  - EX 疾患と看護 ③ 消化器
  - EX 疾患と看護 ④ 血液/アレルギー・膠原病/感染症
  - EX 疾患と看護 ⑤ 脳・神経
  - EX 疾患と看護 ⑧ 腎/泌尿器・内分泌・代謝

## ■ 参考書・参考資料等

特になし

## ■ 準備学修に必要な時間及び具体的な学修内容

- ・授業1コマにつき、事前・事後学修としてそれぞれ90分程度必要とする。
- ・準備学修は、各回の関連する臓器の形態と機能を復習する。さらに、各臓器の疾患について調べ授業に臨む。
- ・事後学修は、講義で学んだ診断（病態生理）、治療方針や治療法を復習しノート整理する。

## ■ 担当教員からのメッセージ

準備学修をして授業に臨み、授業後はその日のうちに復習すること。

## ■ 研究室、連絡先、オフィスアワー

三浦：臨床倫理研究センター長室（月曜から水曜） 不在時、メールでご相談ください。

miura★iwate-uhms.ac.jp（※メールの際は★を@にしてください）

その他は学務課へお問い合わせください。

## ■ 担当教員の実務経験の有無

有

## ■ 担当教員の実務経験

医師

## ■ 教員以外で指導に関わる実務経験者の有無

無

## ■ 教員以外で指導に関わる実務経験者

## ■ 実務経験を活かした教育内容

臨床経験に基づき、より実践的な講義を行う。